



平成30年度

交通不便地域の 住民サービスを考える

少子高齢化や若者の流出等により、人口減少が進み、高齢者が大半を占める地域が少なくない状況が全国各地に広がっています。このような地域では、通学・通院・買い物等、日々の生活に支障を来す住民が多く、公共交通等による住民の足の確保や、住民サービスをどのように提供していくかが喫緊の課題となっています。

この研修では、交通不便地域の住民の命と暮らしを守るためにどのような取組を進めていくべきか、先進事例等から考えます。

研修の ポイント

- 交通不便地域を取り巻く現状及び課題について理解します。
- 地域での様々な取組等について、講義や事例紹介を通して学びます。
- 受講者間で地域の現状を共有しながら、グループ討議等を通して、今後の取組について考えます。

開催要領

日程

平成31年2月4日(月)～2月6日(水) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

企画・まちづくり・公共交通・福祉等、交通不便地域の住民サービスに係る業務に携わる市区町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成30年12月14日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成31年

2月

4日(月)

11:00 ~

入寮受付・昼食

12:30 ~

開講・オリエンテーション

13:00 ~ 15:35

講義 公共交通不便地域において必要な施策～自治体の動きがカギ～

名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和氏

通院・通学・買い物等に困難を抱える人が多い交通不便地域における現状や、それに対する国の施策等についてお話いただき、住民のお出かけ環境を確保し、サービスを維持していくために、自治体ではどのような支援の取組を進めていくべきかを考えます。

15:50 ~ 17:00

意見交換 ワールドカフェ(課題の共有と意見交換)

名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和氏

本テーマについて各自治体が抱えている課題や実施している取組を共有し、意見交換をしながら、多くの事例について触れることで理解を深めていきます。

17:30 ~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成31年

2月

5日(火)

9:25 ~ 14:10

事例紹介 ※各70分を予定しております。(途中休憩あり)

コーディネーター:公益財団法人 豊田都市交通研究所 主席研究員 福本 雅之氏

**①木曽町における生活交通システムの取組について
～4町村合併・システム構築からの12年の歩みと新たな課題～**

特定非営利活動法人 SCOP 主任研究員 富樫 慎氏

2005年に4町村合併により発足した長野県木曽町では、地域の公共交通の確保を最重要課題の1つに掲げ、合併に先がけて2004年から検討に着手し、住民との協議やアンケート等を実施しながら、2006年に「生活交通システム」を構築し、改善を重ねながら現在に至っています。講義では、地域の実状に合わせた12年間にわたる公共交通の確保・維持の取組についてお話しいたします。

②中山間地域の買い物支援～移動型スーパーあいきょうの取組～

有限会社安達商事 代表取締役 安達 享司氏

同社は、鳥取県日野町を中心とする中山間地域において、移動販売事業による地域住民の買い物支援や、高齢者の見守り事業等を行政と連携しながら取組んでおられます。これまでの取組のご経験をもとに、地域住民の生活支援についてお話しいたします。

③住民との協働による地域公共交通システムの取組について

愛知県瀬戸市都市整備部都市計画課 計画係長 岡田 克也氏

瀬戸市内にある菱野団地では、経年に伴う住民の高齢化や人口減少等のオールドニュータウン化が進む中、地域の交通空白の解消に向けて、地域が主体となって移動手段を運行していく「地域主導型交通」を社会実験として始められ、平成30年8月からは菱野団地「住民バス」を地域住民との協働で運行しておられます。これらの住民参加による公共交通施策の取組についてお話しいたします。

14:25 ~ 17:00

講義・演習 交通不便地域の住民サービスを考える(グループ討議)

公益財団法人 豊田都市交通研究所 主席研究員 福本 雅之氏

2日間の講義・事例紹介を踏まえて、自治体ができる交通不便地域の住民サービスについて、グループに分かれて討議を行います。

17:00 ~

課外学習 グループ討議

平成31年

2月

6日(水)

9:25 ~ 10:35

演習 交通不便地域の住民サービスを考える(グループ討議)

公益財団法人 豊田都市交通研究所 主席研究員 福本 雅之氏

前日のグループ討議のとりまとめを行い、発表の準備を行います。

10:50 ~ 14:10

演習 交通不便地域の住民サービスを考える(発表・講評・まとめ)

公益財団法人 豊田都市交通研究所 主席研究員 福本 雅之氏

グループで討議した内容について発表を行った後、講師から講評をいただき、3日間のまとめを行います。

14:10 ~ 14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。